

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜清流高等特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月23日(金) 10:00～12:00
- 3 開催場所 岐阜清流高等特別支援学校 会議室
- 4 参加者

会 長	松本 和久	岐阜聖徳学園大学 教授
副 会 長	山田 正行	芥見東自治会連合会 会長
委 員	松岡 猛	岐阜市立藍川東中学校 校長
	山本 英毅	岐阜障害者職業センター 所長
	村瀬 吉範	J Aぎふ芥見支店 東部グループ 統括支店長
	鷺見 廣也	十八楼川原町寺子屋 塾長
	井上 愛	岐阜放送 営業局 営業部 副部長
	岩原 田鶴子	医療法人 岐阜勤労者医療協会 介護事業部長
	武山 誠	株式会社 プロスパー 代表取締役
	長縄 勇樹	岐阜清流高等特別支援学校 P T A会長

学 校 側	後藤 周太郎	校長
	芦田 友味子	教頭
	古田 光	事務長
	北川 百合	部主事(欠席)
	津田 行代	教務主任
	黒柳 潔	進路指導主事(欠席)
	三好 宗治	生徒指導主事
	大野 晃	保健安全部長
	寺島 智子	渉外部長
	水口 直美	研修支援部長(特別支援教育コーディネーター)

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校経営計画及び組織編成について

○校訓・学校教育目標、学校経営の目標と重点的な取組、教育指導の重点

意見1: アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)について、入学志願者が定員を割り込むことがあることから、社会に出る教育として今後の在り方を考えるとよい。

⇒発達障がい、精神障がいのある方が一般に多いことは周知している。スクールポリシーを大切にしながら社会に出る教育を行っていく。

○各分掌の方針と重点

意見 1：生活指導の中で、自分で選択をして行動するという取組みがとてもよい。社会では選択と行動の連続であるが、指導をしている中で課題はあるか。

⇒生徒が情報を理解することが難しい面があることから情報が伝わりにくいということがある。また自己分析することや他者理解という点についての難しさがあ、自立活動という授業でも取組んでいる。

意見 2：行事等報道される取組みについて、どんな取組みをしているかも見えるようにするとよい。

○教育課程の編成

意見 1：生活訓練室はどんなところか。

⇒本校の生徒は未経験なことが多い。宿泊学習を通して学習している。

意見 2：自立活動は特別支援学校ならではの活動で、人間関係やコミュニケーションというところに力を入れている。

意見 3：現場実習をはじめ、自分で選択しながら取組むことがよい。

(2) 専門コース製品の価格設定について

意見 1：専門コースとはどのようなものか。

⇒学習の一環で作成しており、人件費を加味せず価格設定している。

意見 2：用途に合わせた製品づくりがされるとよい。

⇒販売会の機会以外に注文も受け付けている。売れる製品を作るわけではなく、学習の成果物として販売を行っている。

6 会議のまとめ

- ・学校経営計画及び組織編成について全委員より承認が得られた。
- ・教育課程の編成について全委員より承認が得られた。
- ・専門コース製品の価格設定について全委員より承認が得られた。

○「働き続ける人」を教育目標に、それに向けて生徒一人一人に寄り添い、生徒の意見も聞きながら常に見直しを図っていくようにする。